

大津市胃がんリスク検診（胃の健康度検査）受診にあたって （事前説明書）

この検診は、胃の健康度を調べるための検診で、胃がんを発見するための検診ではありません。

胃がんの多くはピロリ菌の感染によるがんと言われています。そのため、ピロリ菌の感染の有無と萎縮性胃炎の有無を調べることで、将来胃がんになりやすいか否か、つまり胃がんの発生リスク（危険度）を判定します。

検診結果で、リスクが高いと判定された場合は、胃がんや胃潰瘍などの胃の病気になる危険性が高くなります。病気の予防や発見のために、必ず精密検査（胃内視鏡検査）を受けてください。

※結果説明時に精密検査登録医療機関を紹介し、予約をとります。

◆検査方法：血液検査



次の2つの検査を実施します。

- ① 血清ヘリコバクター・ピロリ菌抗体価検査で「ピロリ菌感染の有無」を調べます。
- ② 血清ペプシノゲン検査で「萎縮性胃炎の有無」を調べます。

◆検診料：1,300円

※生活保護世帯等、市民税非課税世帯の人は無料です。また、大津市国民健康保険加入者は助成があるため無料です。

なお、生活保護世帯等及び市民税非課税世帯の人は、検診票の「検診料減免確認承諾欄」に署名してください。

◆検診結果について

- 検診結果については、受診した医療機関で説明を受けてください。
- 「B群」「C群」と判定された場合は、必ず精密検査を受けてください。
- 胃がんの早期発見のためには、胃がん検診を受けることが重要です。「A群」と判定された方は、定期的に胃がん検診（胃部エックス線検査もしくは胃内視鏡検査）を受診してください。